

平成30年度事業報告

次のとおり平成30年度事業報告をいたします。

(1) 医療事故調査等支援団体としての体制の整備について

- ①専用電話の開設とホームページの充実に取り組みました。
- ②当協会主催の研修会を開催するとともに鹿児島市医師会主催の「医療安全管理研修会」への参加を呼びかけました。
また「未来の医師を救う医療事故調査制度とはなにか」を関係各位に配布し医師法第21条及び医療事故調査制度の理解を深めました。
- ③平成31年2月8日付け医政医発0208号厚生労働省医政局医事課長通知「医師による異状死体の届出の徹底について」の問題点を指摘、同通知の誤解の解消に努め、医師法第21条の解釈に何ら変更のないことを確認しました。(詳細は当協会ホームページをご覧ください)
- ④創立55周年記念事業として「院内医療事故調査マニュアル」を作成・発刊しました。

(2) 会員増強と組織強化

他団体主催の研修会会場にて入会案内を配布し、加入促進に努めました。

(3) 協会立看護専門学校の充実

会員病院を対象とした病院説明会を開催し、会員病院への就職を促進しました。

(4) 行政との協力・意見の提言

鹿児島県医療審議会・鹿児島県医療勤務環境改善支援センター運営協議会等に委員を送り、医療法人協会としての意見を反映させました。

(5) 各種他団体との協力

日本医療法人協会の各種会議及び鹿児島県医療事故調査等支援団体連絡協議会等に参加し、最新の情報収集をするとともに連携を強化し鹿児島県の医療・福祉全般に貢献しました。

(7) その他

鹿児島県医療法人協会報をより充実した内容にいたしました。